

新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される中ではありますが、あらゆる予防措置を講じながら、なんとか平常に近い形で、令和2年度をスタートさせることができました。この「花丘学舎」も3年目になりました。学校の様子がわかる、生徒や教職員の思いが伝わる学校便りを目指して、今年も頑張りたいと思います。

9名の新入生の皆さん。入学おめでとう！

去る4月6日（月）、本校体育館において入学式が挙行されました。新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、規模の縮小と時間短縮の形とはなりましたが、在校生と保護者の見守る中、9名の新入生を迎えることができ、大変うれしく思いました。一人一人の名前が呼名された時の返事や所作、話を聞く態度や礼の仕方も、大変立派で、実に堂々としたものでした。佐藤叶汰くんの新入生代表の言葉はノー原稿でしっかりと述べてくれました。教科書授与を受けた後藤風寧さんもとても落ち着いていて、礼儀正しくできました。また、2、3年生の態度も先輩らしくさらに落ち着いた、堂々とした態度で、1年間の成長を感じさせるものでした。

緊張感の中にも、高郷中らしい温かな心の通い合う、感動的な入学式でした。



本校職員を紹介申し上げます！

校長 木野 秀樹
教頭 山寺 豊（校務運営全般）
教諭 竹内 孝幸（数学・技術・教務主任・1年主任）
教諭 猪越 淑子（社会・1年担任）
教諭 笹 康頼（保体・2年主任）
教諭 江川 みさ（英語・2年担任）
教諭 折笠 和弘（理科・3年主任）
教諭 井上 夏美（国語・家庭・3年担任）
養護教諭 鶴見 真理（保健・食育）
主査 坂井 礼尊（事務全般）
栄養技師 吉川 瑛里（食育）
時間講師 高橋 幸子（音楽）
時間講師 岩下 千恵（美術）

用務員 五十嵐幸喜
SC 加藤美穂子
ALT シャーネル（英語指導助手）
司書 小澤 志帆



一丸となって取り組んで参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

新年度のスタートにあたり！

4/6（月）、春休みを終えた新2・3年生が、一回り成長した顔で登校し、体育館で第1学期始業式を行いました。この日の新鮮な思いは、今年1年を左右する、大変重要なものになると思います。現在の困難な状況に負けず、むしろ力強く立ち向かい、高郷中生全員がいきいきと、笑顔で、有意義な日々を送ることを願い、以下の式辞を述べさせていただきました。

かつて経験したことのないほど雪の少ない冬、新型コロナウイルス感染拡大防止のための突然の臨時休業措置、外出や部活動も自粛の春休み……。予想だにしない混乱した状況に戸惑う日々が続きましたが、今日、ここに令和2年度の新学期を皆さんとともに迎えることができたことを、心からうれしく思います。

さて、臨時休業の期間と春休みを合わせて、約1ヶ月間の家庭生活はどうでしたか。充実していましたか、それとも時間をもてあましてしまいましたか。自由な時間を過ごせて、楽しかったですか、それとも学校の規則正しい生活の中でも、友達と過ごす時間の方が楽しいと感じましたか。さまざまな感じ方があるとは思いますが、いずれにしても、その感じ方によって、時間の持つ意味合いはずいぶん違ったものになると考えさせられた期間となりました。

そこで、これからの新学期生活を送るにあたり、一人一人が貴重な時間を有意義に過ごすため、3つのことについて、目標を持ってもらいたいと思います。

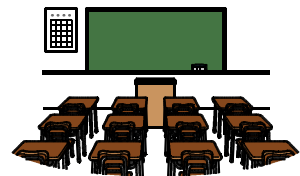
まず1つ目は、「健康維持のための自己コントロールができる力」を身につけてほしいと思います。この新型コロナウイルスの感染は、今後もどうなるかわからない状況です。学校の教育活動は再開しましたが、感染者が増えてくれば再度休業の可能性もあるし、何より自分や家族の健康が脅かされることにつながってしまいます。規則正しい生活に心がけ、気をつけるべきことは気をつけ、守るべきことはきちんと守り、やるべきことはしっかりとやる、そんな健康維持のためにしっかりとコントロールされた生活に心がけていきましょう。そしてウィルスに負けない強いからだを心をつくっていきましょう。

2つ目は、夢を持ち、夢に向かって頑張るといことです。大きな自然災害や、今回のウィルスの世界的規模での感染など、予想の付かない出来事は、いつ、どこで起きるかわからない。だから、今を大切に生きるという考えは確かにあるのかもしれませんが、皆さんの人生はまだ始まったばかり、皆さんは未来に生きていく人達です。さまざまな困難な出来事にもしっかりと向き合い、それを乗り越えていくことが豊かな人生につながっていきます。今が楽しければそれでいいということにはなりません。将来の夢に向かって、今やるべきことをしっかりとやる、それが今を大切に生きるということなのです。

最後の3つめは去年、おとしの始業式で話した内容と同じです。「A B C Dの原則」を覚えているでしょうか。「A、あたりまえの事を、B、ばかにしないで、C、ちゃんとやる人こそ、D、できる人」です。昨年度、プロ野球のドラフトでロッテに入団した佐々木朗希投手が、東日本大震災の日のインタビューに答えて、「当たり前前のが実は当たり前じゃないということを知り、当たり前前にできることへの感謝の気持ちを持つようになった」ということを話していました。佐々木投手は、震災でお父様を亡くしています。当たり前前のは実は当たり前でない、けっしてばかにしたりしない、むしろ感謝の気持ちを持たなくてはならない。そのことを改めて教えてもらった気がします。

長くなってしまいました。

今年1年、また楽しく、笑顔あふれる学校生活を送っていきましょう。



※保護者の皆様へ

本年も無事に入學式を行い、新年度をスタートさせることができました。これもひとえに、保護者の皆様、地域の方々の支えがあってこそのもので、感謝申し上げます。新型コロナウイルス対策のための検温やマスクの着用、突然の予定の変更等、今後いろいろご協力いただくことが多いかとは思いますが、保護者の皆様や、地域の方々との連携は不可欠のものと考えています。より強固で、太い絆を築いて参りたいと思います。

今年度も、誠心誠意努めて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

